

**Premium**

**プレミアグループ株式会社**

2020年3月期本決算説明会

2020年5月29日

## イベント概要

---

[企業名]	プレミアグループ株式会社
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2020年3月期本決算説明会
[決算期]	2019年度 通期
[日程]	2020年5月29日
[ページ数]	27
[時間]	16:00-16:37 (合計: 37分、登壇: 31分、質疑応答: 6分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1名 代表取締役社長 柴田 洋一 (以下、柴田)

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 登壇

---

**司会：**ただ今より、プレミアグループ株式会社 2020 年 3 月期本決算説明会を開催いたします。本日は弊社、代表取締役社長、柴田洋一よりご説明をさせていただきます。お時間は 17 時までの約 1 時間を予定しております。

説明に先立ちまして、開催方法について数点ご案内いたします。

新型コロナウイルスの感染防止を目的として、今回はオンラインのみの開催とさせていただきます。当説明会の映像は、後日弊社の IR サイトにて公開させていただきます。

また本日の説明の後、お時間の許す限り皆様からいただくご質問にお答えしたいと考えております。質問のある方は画面上の Q&A フォームからご入力をお願いいたします。説明の途中でご入力いただいても問題ございません。入力の際は会社名、お名前も合わせて入力いただきますよう、お願い申し上げます。

なおこちらの質疑応答に関しても録画をさせていただきますので、説明と合わせて後日配信させていただきますこと、あらかじめご了承ください。と思います。

それでは代表取締役社長の柴田より説明を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**柴田：**プレミアグループ代表の柴田でございます。本日は弊社、決算説明会ご参加いただき誠にありがとうございます。今回はコロナ禍の影響で、このようなウェブでお伝えするかたちを取らせていただいております。ご了承ください。よろしくお願いいたします。

それでは早速でございますが 2020 年 3 月期プレミアグループ株式会社、決算説明のほうを資料にもとづいて行わせていただきます。

まずアジェンダでございますが、新型コロナウイルス感染の拡大の影響について、それから 3 月期の決算の概要、それと来期の業績予想について、この順番にご説明をさせていただきます。

---

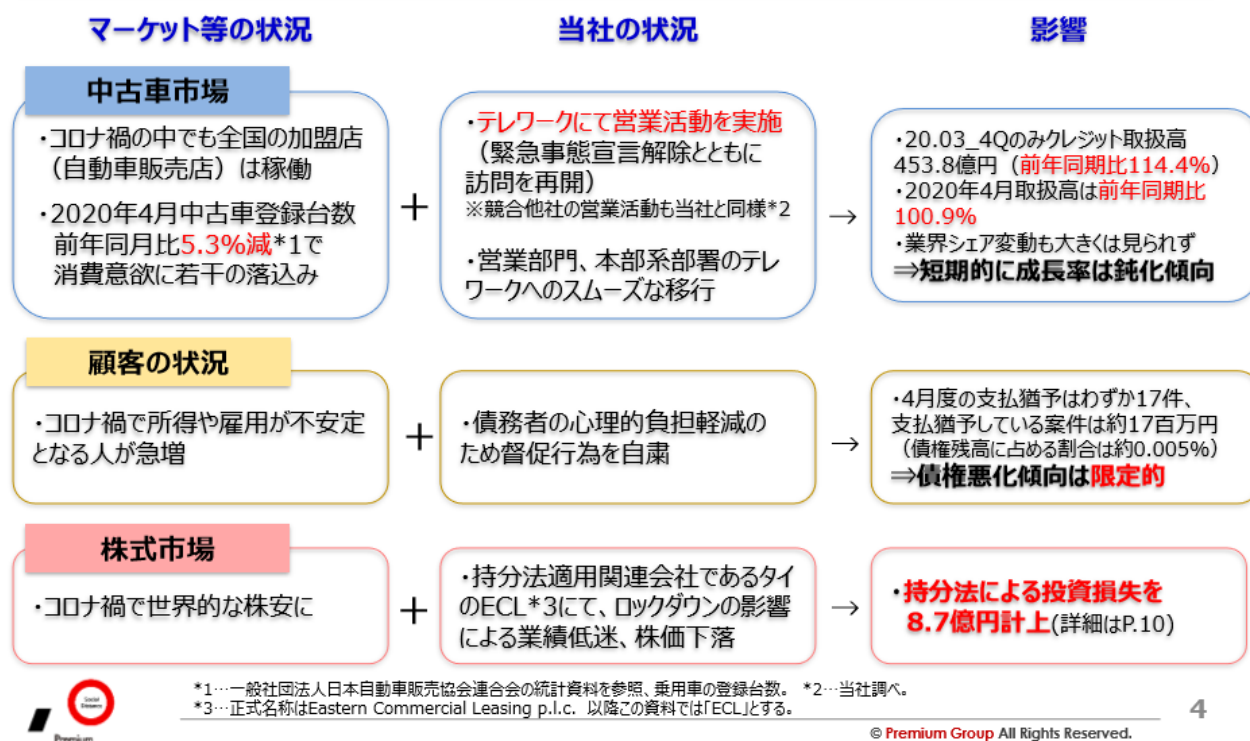
### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## -新型コロナウイルス-マーケットの状況と主要事業への影響

- ✓ クレジット事業の成長率は販売減により、やや鈍化
- ✓ 懸念される債権悪化等も影響は限定的



まず始めに今回新型コロナウイルスの感染拡大の影響についてのご説明でございます。

まずマーケットの状況と私どもも主要事業への影響でございます。

全般的にわれわれの本業でございますクレジット事業、それとワランティ事業に関しましては、成長率につきましてはやはり販売減で、やや鈍化しているというのが現状でございます。

もう1点、懸念される債権悪化の懸念ですけれども。こちらは影響は、限定的ではないかなと考えてございます。

まずマーケット、私どもの主力マーケットであります中古車市場でございますが。やはりコロナ禍の影響で全国の加盟店に関しては、これは全て稼働をしております。そういった意味では、この車を販売する販売会社においては自粛にはなっていない状況でございます。

また直近の数字でいきますと、2020年4月に関する中古車の登録台数に関しましては、前年同月比5.3%減でやはり消費意欲に若干の落ち込みがみられるというようなマーケット状況になってございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

こちらに対して当社の状況でございますが、テレワークにて営業活動を実施いたしております。緊急事態宣言とともに営業活動をいったん停止をして、営業に関しては自宅から在宅で、電話での推進で対応をさせていただいております。

競合他社についてもほぼ同じような体制になってございます。ただ緊急事態宣言が先週より地域ごとに解除されてますので、営業活動も一部限定的ではありますが再開もさせていただいております。

また営業部門だけではなく本部系の部署に関しても、テレワーク等々のスムーズな移行が行われてございます。

この影響ですが前期の4クォーターのクレジットの取扱高は453億8,000万。後ほどご説明いたしますが、前年同期比114.4%で第1クォーターから第3クォーターに比べると少し伸びが鈍化してる状況でございます。

ちなみにこの4月の取扱高に関しましては、前年同期比100.9%で業界シェア自体の変動はないんですけども、やはり全体の販売減の影響を受けて短期的には成長率は鈍化傾向にあると考えてございます。

また一方、顧客の状況でございますが。コロナ禍で所得、または雇用こういったところが不安定となる人が急増してくるといわれています。私どももこの4月に関しては、債務者の方々の心理的負担軽減のために一部督促行為というものを自粛を行ってございます。

その結果でございますが、4月度の支払猶予はわずか17件というかたちで猶予。今回のコロナ禍の影響で支払いの猶予をした案件の残高は1,700万になりますので、債権の悪化傾向は限定的であるかなと今捉えております。

また株式市場でございますが、これは言わずもがなですが、コロナ禍で日本だけではなくて世界的な同時株安で、特に3月末にかけては大きく株価が落ちております。

この影響があるということと、また私どもタイでEastern Commercial Leasingという会社の株式を25.5%所有をしておりますが。日本と違いましてタイの場合は完全にロックダウンで営業自体、車の販売会社自体も全てクローズになっておりますので、こういった業績低迷。それと株価の下落が影響して、前期持分法による投資損失を8.7億円計上させていただいております。こちらも詳細は後ほどご説明させていただきます。

---

## サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptasia.com



## -新型コロナウイルス-従業員に対する取組み

### ✓ 従業員及び従業員家族の安全・安心を前提に各種対応を迅速に実行

#### ▶ 営業を含む全社員を在宅勤務へ移行（出社8割減を目標）

↳ やむを得ず出社している従業員に対して、下記対策を実施

- ① 勤務拠点近隣（徒歩圏内）の宿泊施設の利用
- ② 自動車通勤（社用車の貸し出し含む）の許可
- ③ 2チームのシフト体制で、出勤が被らないようにリスクヘッジ

#### ▶ 休業補償

↳ 妊娠中、基礎疾患、介護、小学生以下の子どもを持つ従業員及び、会社指示により自宅待機の社員

#### ▶ 「プレミアム Stay home休暇」の導入

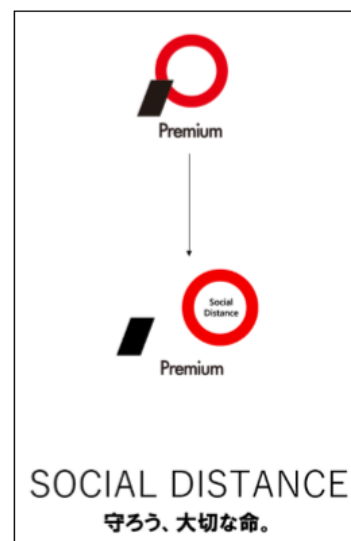
↳ 在宅勤務比率80%超に向けて、2020年4月～6月に取得可能な特別休暇（5日）を付与

#### ▶ 自宅から通いやすいオフィスを勤務地として開放

#### ▶ 従業員、従業員家族へのマスク配布

#### ▶ ソーシャルディスタンス推進に向けてロゴを策定

▽ソーシャルディスタンスロゴ



© Premium Group All Rights Reserved.

5

次にですが、私どもの従業員の取組みに対する取組み、会社としての社員に対する取組みですが。今回4月からのコロナ禍で従業員及びその従業員家族の安全・安心というものを前提に各種対応を迅速に実行をさせていただきます。

営業を含む全社員をほぼ在宅勤務へ移行というかたちで、出社の8割減を目標にこの4月、5月の約2カ月間に関しては対応しております。

ただし一部コールセンター等含め、どうしても出社をせざるを得ない部署がございましたので、こちらは時間を短縮した営業ですとか、または勤務拠点の近隣の宿泊施設を利用させていただいたり。または一部自動車通勤を社用車を貸し出しで自動車通勤を行ったり。または万一感染が出た場合にその感染の電波が広がらないようにと、2チームのシフト体制でリスクヘッジを行いました。

おかげさまで現在段階で私どものグループ社員の中で感染、罹患した人間はまだ誰もおりません。また休業補償で妊娠中、基礎疾患がある者、介護、または育児この辺が必要な社員に関しては、会社指示により自宅待機というような処置も取らせていただいたり。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



また今回は夏季休暇がほとんど取れない状況になると見越しまして、夏季休暇に代えて Stay home 休暇というかたちで4月から6月に勤務、取得できるような休暇を付与したり。または自宅から通いやすいオフィスを勤務地としてサテライトとして開放したり。従業員、または従業員の家族向けにマスクを配布。またソーシャルディスタンスというかたちで、この図にありますように新しいロゴを策定しまして感染を極力防いでいく活動を行っております。

## -新型コロナウイルス- 対外的な取組み

### ✓ コロナ禍における社会貢献活動を開始

#### ▶ 支援企画プロジェクト「Premium Value Support Project」の組成

↳ 新型コロナウイルス感染拡大下、出来る限りの支援活動を行い社会に対して働きかけることを目的に社内プロジェクトを立ち上げました。

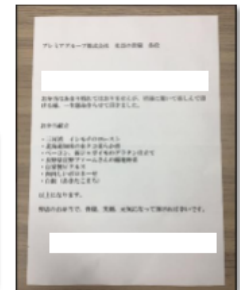
#### ▶ 医療機関、行政機関等へのマスク寄付

↳ 新型コロナウイルス感染患者の受入れを行っている医療機関を中心に、医療関係の事業者様、行政機関、従業員家族等へサージカルマスクを無償提供しております。



#### ▶ お弁当の購入を通じた飲食店支援

↳ コロナ禍により売上が落ち込んでいる飲食店に対して、お弁当の購入を通じた支援を開始いたしました。お弁当の購入代金は、Premium Value Support Project 基金が負担し業務上やむを得ず出社している社員に対して無償配布しております。



© Premium Group All Rights Reserved.

6

またその他に対外的な取り組みとしましては、社会貢献活動の一環として Premium Value Support Project というかたちで、私どもおかげさまで中国とのいろんなルートがありましたので、こちらでマスクですとかまたは医療用品、こちらのほうをある程度早期に手配することができ、私どものグループだけではなくて医療機関のほうに寄贈というかたちで送らせていただいたり。

またどうしても私ども出社するメンバーがおりますので、この出社するメンバーが少しでも飲食業で苦しんでおられる飲食店支援というかたちで、こちらもお弁当をこの資金を使いながらサポートした、このような取り組みも行ってまいりました。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## -新型コロナウイルス-財務の状況、方針について

- ✓ 新規採用、新規出店等の投資についてはコロナ禍収束後に再開を検討するなど、当面はキャッシュポジションを高める方針とする

### 手元資金及び流動性の確保について

現金及び現金同等物 *1	6,286百万円
短期借入枠 *2	13,000百万円

### 2020年3月期の内部留保等の状況

利益剰余金	3,587百万円
将来収益	26,390百万円



\*1…2020年3月期末時点。 \*2…2020年4月末時点。

© Premium Group All Rights Reserved.

7

今回のコロナ禍による財務の状況と方針についてです。

まず新規の人材の採用または新規の営業店の出店。こちらの投資につきましては、収束後まではペンディングというかたちで、収束後に再開を検討したいという考え方をもとに、当面はキャッシュポジションを高める方針とする財務戦略を取らせていただいております。

手元資金または流動性の確保につきましては、現在は手元資金が約 63 億円、それと銀行からの短期借入枠、こちらが約 130 億円の借入枠を持っておりますので十分なキャッシュポジションを持っていると、流動性確保もできている状況でございます。

内部留保につきましても利益剰余金が 36 億円弱、また将来の利益を出せる将来収益が 260 億円強になっておりますので、当面はこのキャッシュポジションを高め、または内部留保をしっかりと行っているというような財務体制を取っていきたいと考えてございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 2020年3月期 ハイライト

✓ **本業（クレジット事業・故障保証事業）** に関しては**2桁成長を記録**  
コロナ禍による減損により、**計画比マイナスも、過去最高益は確保**

### 業績

- クレジット事業、故障保証事業が共に大きく伸長し、**営業収益140.2億円**（前年同期比**130.3%**）
- **将来収益263.9億円**をBSにストック  
（クレジット\_220.6億円、故障保証・その他\_43.3億円）

### KPI

- クレジット事業の取扱高は、前年同期比**129.2%**の安定成長
- 故障保証事業の取扱高は、同業の**EGS(株)を子会社化**したことによる純増も含め、前年同期比**145.5%**の成長

### TOPICS

- コロナ禍に伴う世界的な株安の影響により、関連会社であるタイ「ECL社」の株価が暴落、本業は堅調に推移しているものの、減損損失として**8.7億円**を計上



続きまして2020年3月期の決算概要でございます。

本業に関しましては2桁成長をしっかりと記録はさせていただいております。ただ冒頭で申し上げたとおり株安の問題もあり、コロナ禍によりタイのECLを減損したことにより、計画比に関してはマイナスになってしまいましたが、過去最高益はしっかりと確保はさせていただいております。

業績に関しましてはクレジット事業、故障保証事業、こちらが共に大きく伸長をしております。営業収益のほうは140億2,000万円、前年同期比で130.3%の伸びでございます。

将来収益に関しましては264億円近くをBSにストックをしております。またクレジット事業のトップラインの取扱高に関しましては、前年同期比約130%の安定成長を行うことができました。

故障保証の取扱高、こちらについてもEGSを昨年の4月に子会社化したことによる純増も含めて、前年同期比145.5%という大きな伸びを記録することができました。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## タイ関連会社(ECL社)の減損損失について

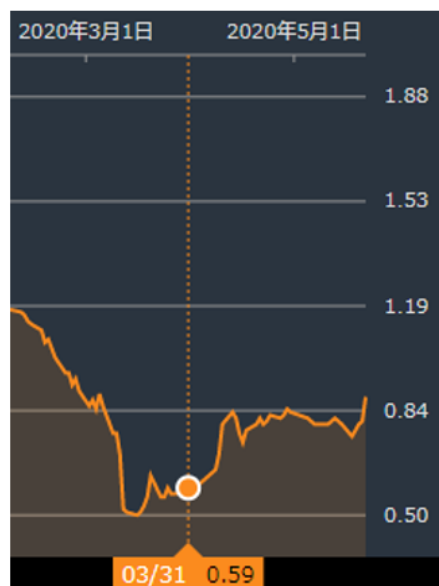
✓ 2020年3月期決算において、タイの関連会社ECLに対し減損処理（8.7億円）を実施

✓ コロナ禍に伴う世界的株安の影響から、ECLの株価が一時的に暴落したことが要因

✓ ECLの事業自体は、堅調に推移、利益も継続的に計上

✓ タイのロックダウンによる業績の一時的低迷、及び今後の悪影響が不透明なため今回、**保守的に減損を実施**  
(現在はロックダウン解除済)

✓ 今後は、常勤役員の派遣等、当社によるバックアップを更に強化



(注) 将来キャッシュフローに基づいた使用価値により減損額を算定しております

10

© Premium Group All Rights Reserved.

ただ残念ながら今回コロナ禍に伴う世界的な株安の影響によって、私どもの関連会社であるタイの Eastern Commercial Leasing の株価が大暴落をしまして、また本業は堅調に推移をしておりますが減損損失として 8.7 億円を今回計上させていただきました。

こちらの ECL 社の減損損失についてでございますが、まずコロナ禍により世界的な株安の影響で ECL の株価が一時的に暴落をしております。3 月の前期末の段階では 0.59、一株あたりの株価が 0.59 バーツで一時期は 0.5 バーツを切る時期もあったんですけれども、こちらが一番、非常にタイミングの悪い時期に株価が当たってしまったというところはございます。

現状は今、約 1 バーツぐらいで推移をしておりますので、株価のほうに関しても徐々に上がってくるのかなと思っております。この事業自体に関しましては堅調に推移をしているところと、私どもと同じようにクレジット事業でございますので、全てストック収益で対応してまいります。

そういった関係で利益については、継続的にしっかりと計上ができるという部分はございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

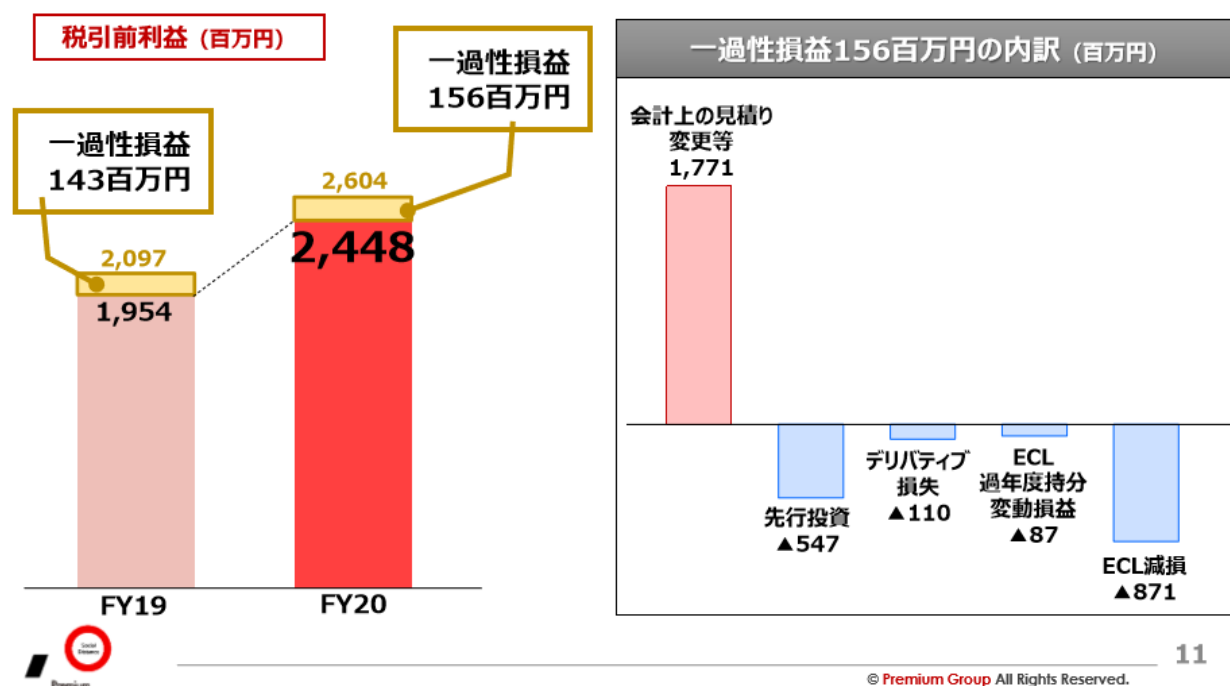


ただタイの場合は日本と違いまして完全にロックダウンを、封鎖をしてしまいますので、こちらが業績の一時的な低迷、または今後の悪影響が非常に不透明な部分があるところから、今回は保守的に減損を計上を実施させていただきました。

今後につきましては私どものほうから、もう既に今4名の社員がタイに引き続き駐在をしておりますが、常勤役員を派遣をして当社によるバックアップ体制というものをさらに強化をしていきたいと考えてございます。

## 2020年3月期における一過性損益について

✓ 一過性損益として1.6億円を計上  
本業に係る税引前利益は、前年同期比125.3%



また3月期における一過性の損益についてでございます。

こちらは期中もご説明をさせていただいておりますが、最終的には今期、前期の一過性の損益は1.6億円の計上になりました。本業に係る税引前利益は、前年同期比125.3%で本業に関しての税引前利益に関しては順調に推移をしております。

前々期の税引前利益は約20億円強で、このうち一過性の収益が1億4,300万ありましたので、FY19、前々期の税引前利益は19億5,400万でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiasia.com

今期に関しまして今期 26 億 400 万の税引前利益であったわけですが、こちらの一過性利益約 1 億 5,600 万を差し引きますと 24 億 4,800 万が本業の利益になってございます。

そういった意味では、本業に関してもしっかりと利益を伸ばすことができました。

ただ一過性の損益に関しましては、当初予定をしておりました金額よりもこの ECL の減損部分が 8 億 7,000 万マイナスになったというかたちでございまして、トータルとしましては一過性の損益については約 1.6 億円を計上している状況でございまして。

## 2020年3月期 連結業績

	(百万円)		
	【連結】 2020年3月期	【連結】 2019年3月期	前年同期比
営業収益	14,016	10,759	130.3%
営業費用	12,458	10,001	124.6%
税引前利益	2,604	2,097	124.2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,466 <small>(注) 1</small>	1,388	105.6%
基本的 1 株当たり 当期利益 (円)	112.33	113.08	99.3%



(注) 1. 持分法による投資損失につき繰延税金資産が計上できないため、その結果として実効税率が上昇しております。  
2. 2018年10月15日に行われた株式会社ソフトプランナーとの企業結合について、前連結会計年度及び第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、遡及修正後の数値を用いて記載しております。

12

© Premium Group All Rights Reserved.

次に最終的な連結の業績でございまして。

営業収益のほうは 140 億円を少し超えた数字でございまして、前年同期比が 130.3%になっております。

営業費用のほうは 124.6%増の 124 億 5,800 万から、税引前利益が 26 億 400 万、当期利益のほうは 14 億 6,600 万というかたちになってございます。

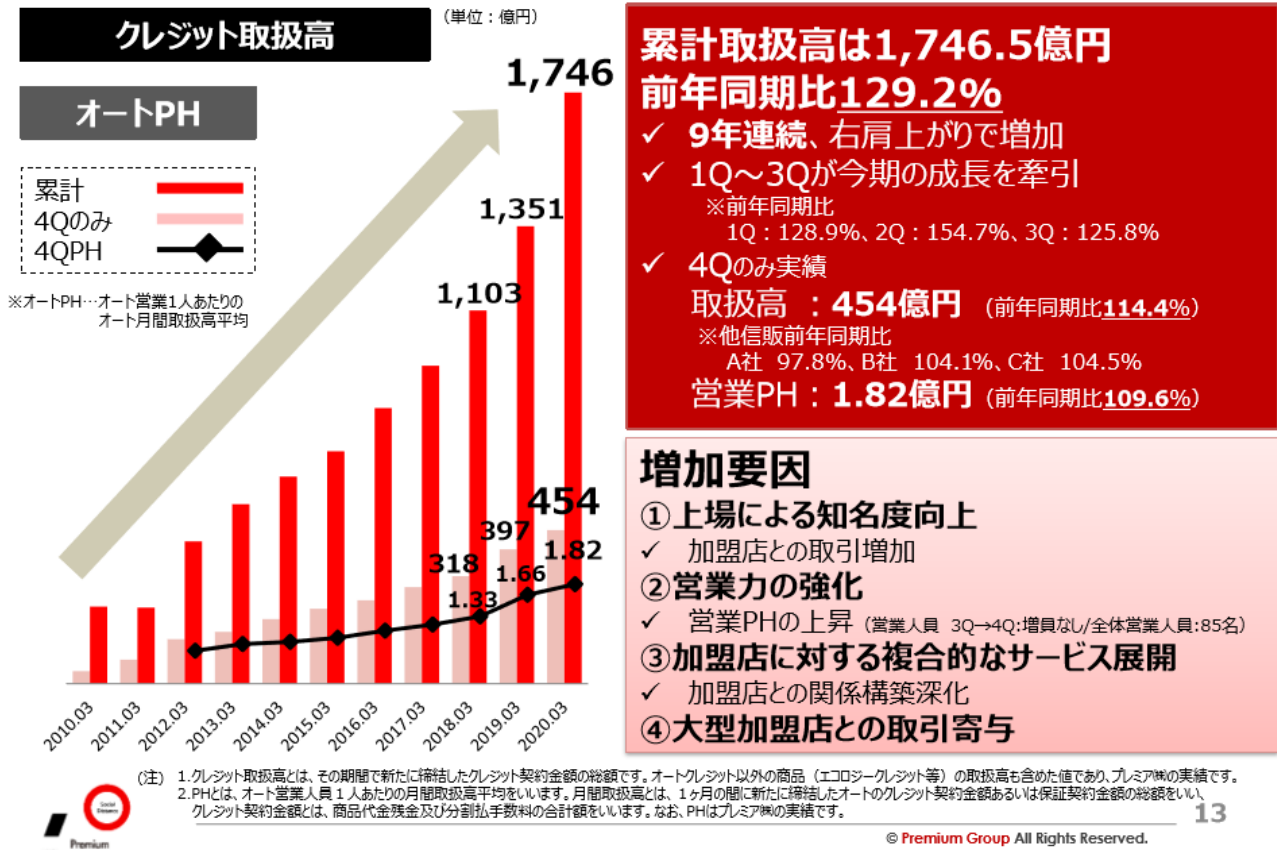
### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



当期利益が若干税引前利益の伸び率よりも低いかたちは、先ほどご説明しました ECL の減損の 8.7 億円という部分の税率の部分の若干変わってまいりますので、最終的な実効税率が少し上がって、こちらの伸び率は低くなってるかたちでございますが、増収増益はしっかりと確保は最低限はできたかなと感じております。

## クレジット事業 取扱高推移



続きましてクレジットの事業の取扱高の推移でございます。

前期のクレジットのトップライン、取扱高のほうは 1,746.5 億円で前年同期比 129.2%の伸びになってございます。1 クォーターから 3 クォーターまでが今期の成長を牽引したかたちで、特に 2 クォーターに関しましては、消費税の駆け込み需要も大きく寄与して、こちらは数字が大きく伸びたかたちでございます。

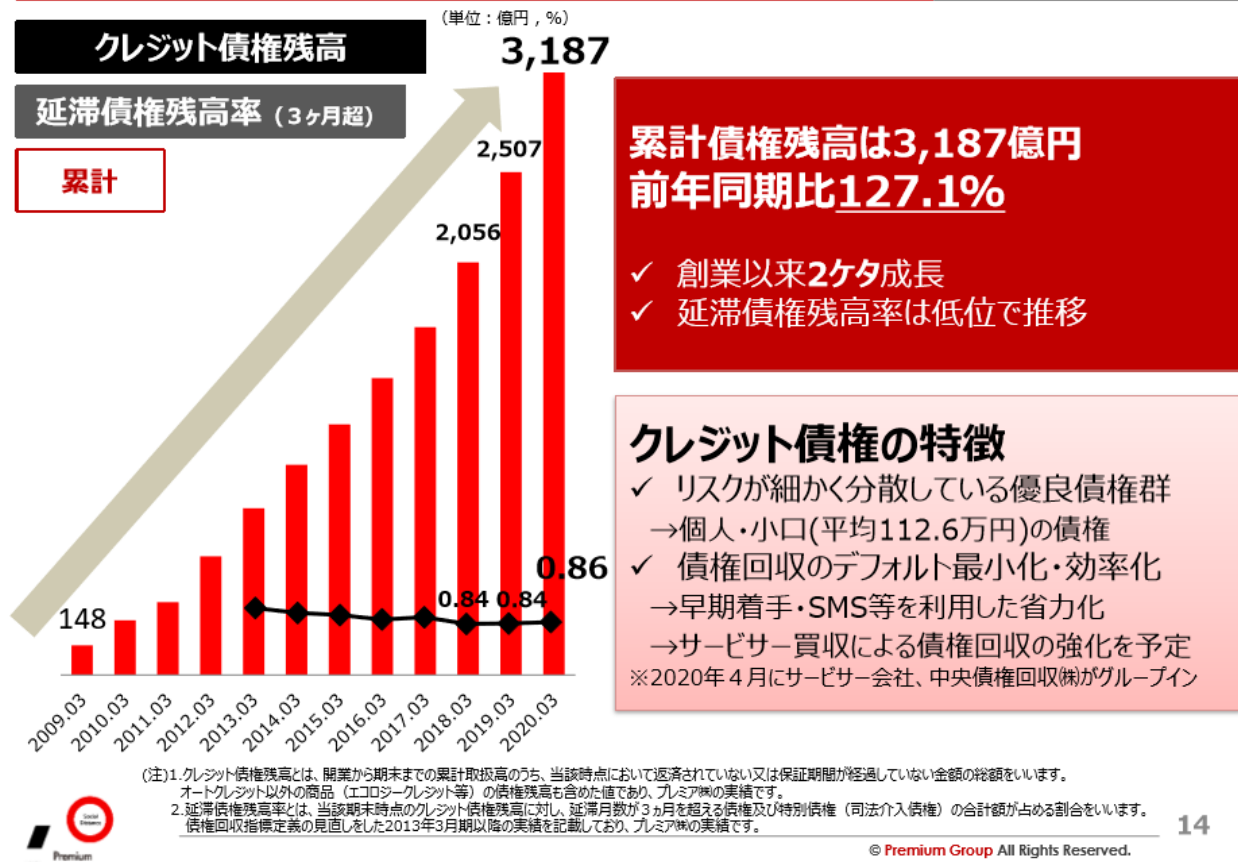
4 クォーターだけでいきますと約 114.4%、454 億円という伸びなんですけども、競合他社の上場の他社の伸び率と比べると 10%近いわれわれプラスの伸び率はキープをしておりますので、しっかりとシェアアップは図ることができたのかなと思っております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

営業のパーヘッドに関しても 1.82 億円で、こちらも 3 クォーターから 4 クォーターの営業人員増は今回行っておりませんので、そういった意味で一人当たりの営業パーヘッドをしっかりと上げてきてるといところ、または今まで取ってきた営業の戦略がしっかりと実績として表れてると、マーケットのシェアを取りに行けてると考えております。

## クレジット事業 債権残高推移



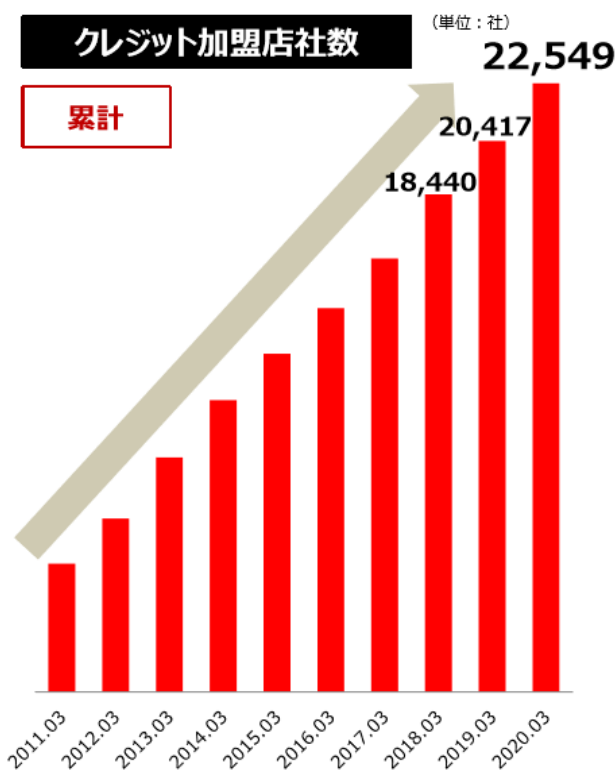
また債権残高のほうも 3,187 億円で 130%近い伸び率をしておりまして、しっかりと残高も伸び、またはエンター債権率も若干上がっておりますが。こちらはそれほど大きな何か原因があって上がってない、0.02%ほど上がっておりますけども、ほとんど債権内容に関しては優良債権を引き続きキープできてると思っております。

またこの4月に関しましてはサービサー、債権回収会社である中央債権会社をグループインさせることが4月1日付で私どもの100%子会社になっておりますので、今後はさらにグループシナジーをきかせながら、債権回収体制の強化を取っていきたいと考えてございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## クレジット事業 加盟店社数



累計加盟店社数は22,549社  
前年同期比110.4%

- ✓ 22,000社を突破
- ✓ 創業以来、確実に加盟店社数を増加
- ✓ 継続的に稼働率向上にも注力

### 加盟店拡大、稼働への取組み

- ✓ 新規加盟店獲得活動と併せて既存加盟店への複合取引の推進
- ✓ 1社あたりの取扱高の拡大
- ✓ 未稼働先への稼働促進も並行実施  
→コンタクトセンター(アウトバウンド営業)の活用

(注)加盟店社数とは、加盟店契約を締結した法人単位をいい、複数店舗をもつ加盟店であっても、1社として集計しており、プレミアの実績です。なお、実績につきましては当社グループの基幹システム切替えを実施した2010年3月期以降を記載しております。



© Premium Group All Rights Reserved.

15

また加盟店社数に関しましても2万2,549社で、前年同期比110.4%の伸びで、こちらも毎年10%の伸びをしっかりと記録させていただいております。

今後に関しましてももちろん加盟店拡大というところも含めて、また稼働をしっかりとさせて、既存加盟店の複合取引を推進して1社あたりの取扱高を拡大させていきたい。

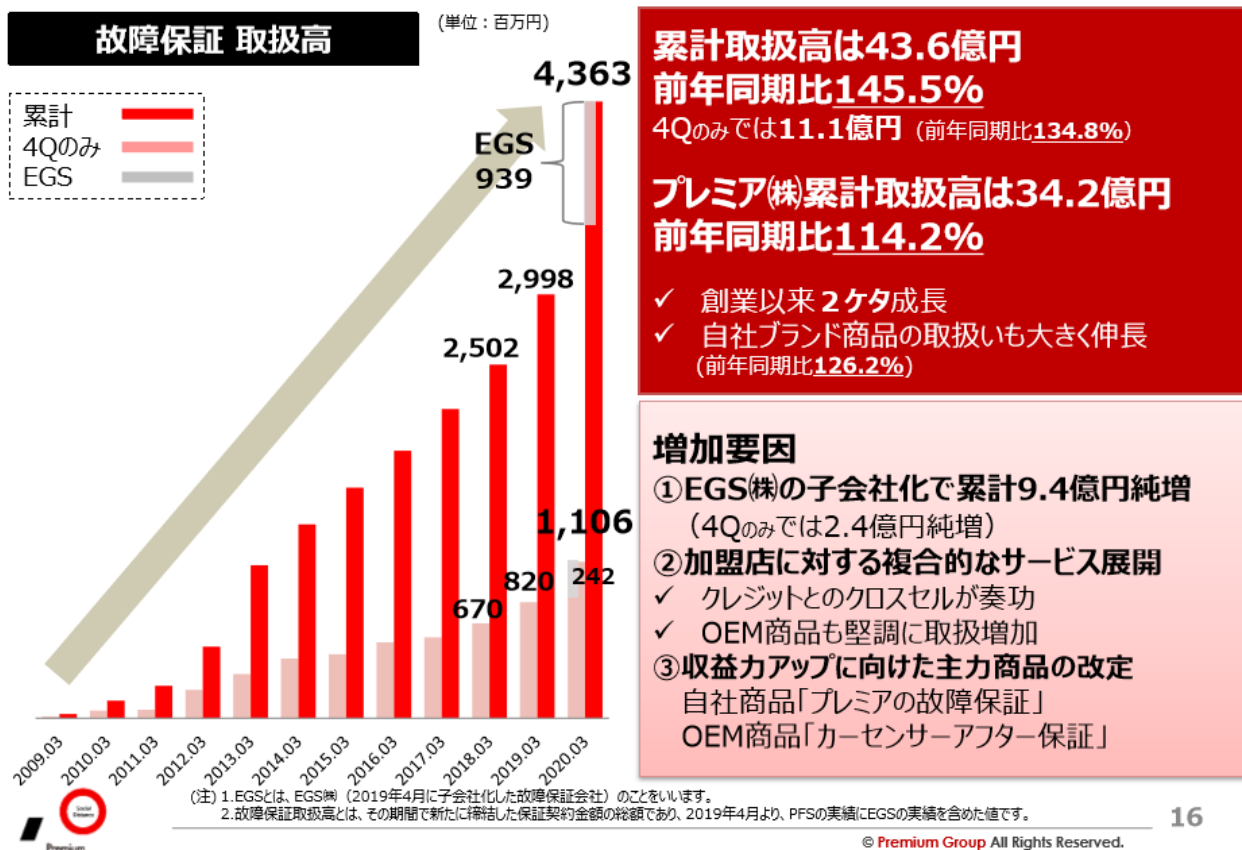
また未稼働先というものがまだまだたくさんありますので、この未稼働先の稼働促進も並行して実施をしていきたいと考えてございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 故障保証(ワランティ)事業 取扱高推移



それから次にワランティ、故障保証事業の取扱高推移ですけれども。こちらでも EGS 社を子会社化したという効果があって、全体の伸びとしては 43.6 億円の保険保証料収入を得ております。

こちらでも前年同期比 145.5%。4 クォーターのみでいきますと 11.1 億円増で、こちらもしっかりと伸びてるかたちでございます。

またプレミア、単独の EGS を除く取扱高のほうも 34.2 億円、前年同期比 114.2%でしっかりとこちらでも伸ばしているかたちでございます。

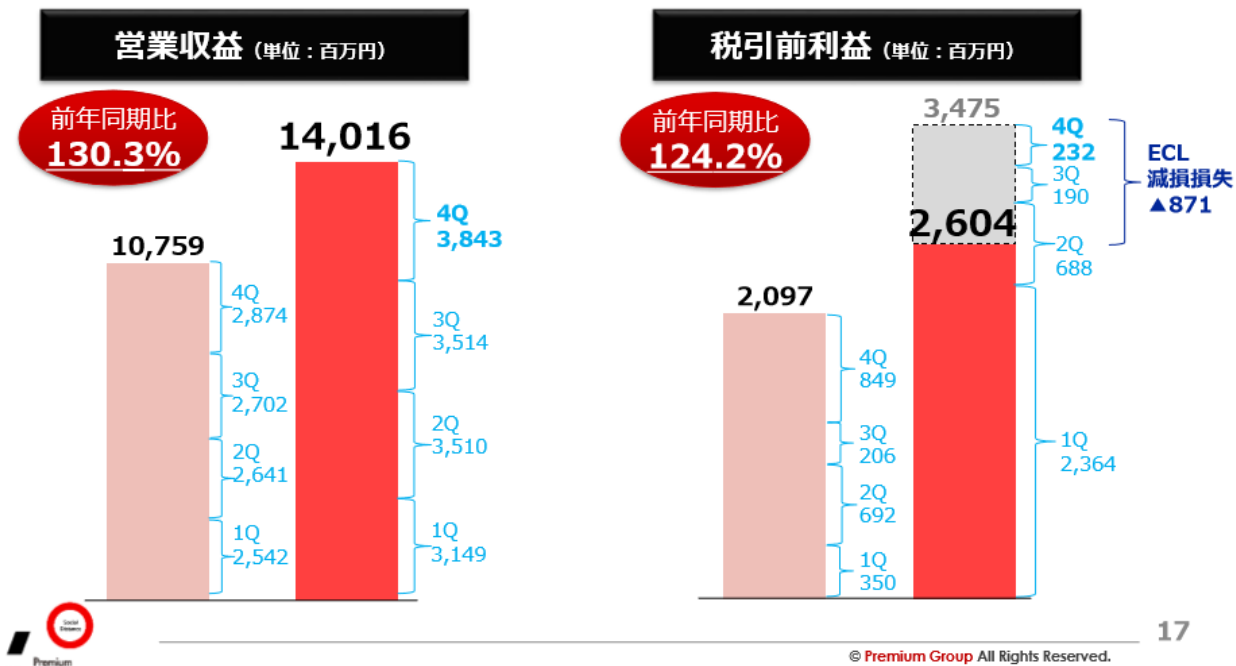
こちらでも EGS という子会社とプレミアの故障保証という 2 ブランドで、しっかりと今後ともこの 2 商品を推進していきたいと考えておりますし。またわれわれの自社商品である「プレミアの故障保証」という商品自体をリニューアルも重ねながら、こちらのシェアを一気に伸ばしていきたいというのが今期の戦略でもございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 通期決算ハイライト(前年同期比)

- ✓ 営業収益は140.2億円（前年同期比130.3%）
- ✓ 税引前利益は26.0億円（前年同期比124.2%）

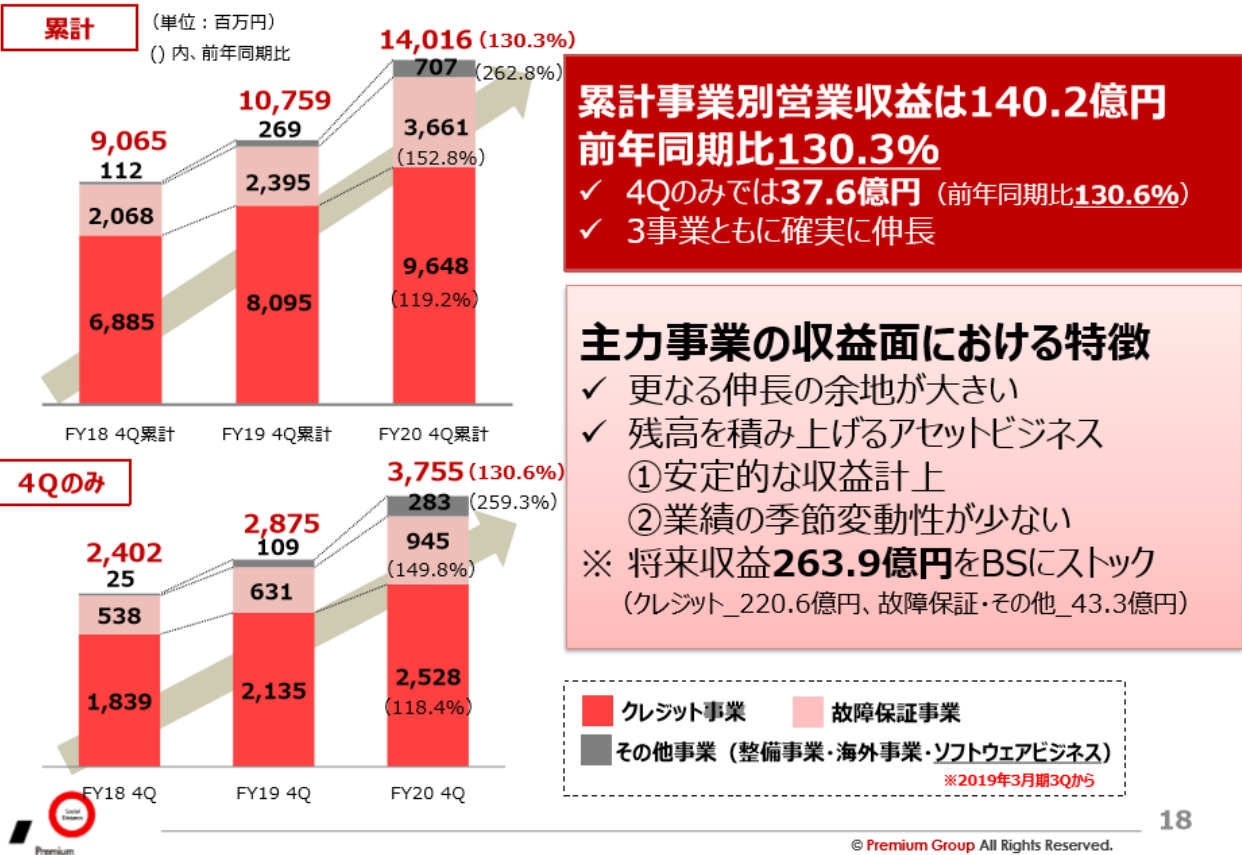


決算のハイライトの前年同期比の比較でございますが、営業収益に関しましてはご覧のとおり前期、前々期 107 億円から前期 140 億円で、前年同期比 130.3%の伸び。また税引前利益に関しましても、21 億円から 26 億円で 124.2%の伸びで、ECL の減損があり、残念ながら計画比はマイナスになりましたけども、しっかりと足元は固めていって伸ばしていきたいと考えてございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 事業別営業収益(PL)の推移



事業別の営業収益に関しましても全事業部門3事業ともしっかりと成長をしておりますし、安定的な収益を今後もアセットの積み上げによって、上げていくことができるのかなと考えてございます。

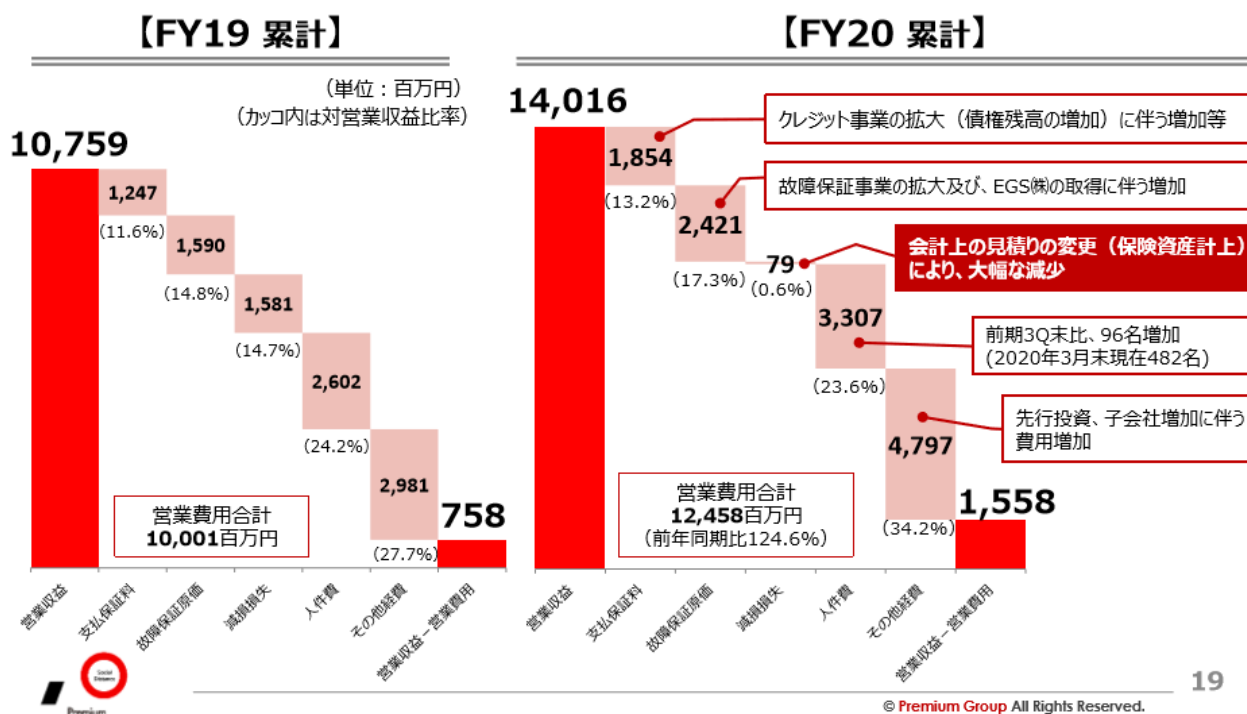
将来収益のほうがこの期末で264億円をしっかりとストックできましたので、これが今期移行、収益として計上できるという強みを引き続き保有をしております。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 営業費用(PL)の状況(前年同期との比較)

- ✓ 営業費用の合計は、124.6億円（前年同期比124.6%）
- ✓ 先行投資とEGS等、子会社の連結により販管費が全体的に増加



営業費用の状況でございますが、FY19 と FY20 の比較でいきますと少し会計基準の変更、会計上の見積りの変更で、前期よりも貸倒引当金が大幅に減っているところがございます。

その他に関しましては先行投資、または子会社の増加等により一般販管費は若干増加をしておりますが、基本的には主力事業の伸びとともに各[音声不明瞭]のほう伸びている状況でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## その他トピックス

### プレミアムモビリティサービス株式会社、プレミアオートパーツ株式会社設立

2020年1月22日にオートモビリティサービス分野を統括する**プレミアムモビリティサービス株式会社**と、オートパーツ関連事業を統括する**プレミアオートパーツ株式会社**を設立し、「クルマ」に関する先進的なソリューションを提供する体制基盤を整えました。

### 中期経営計画の発表

2020年2月14日に2023年3月期を最終年度とした中期経営計画を発表いたしました。こちらでは「**「オートクレジット企業」から「オートモビリティ企業」へ**」を目指すべき将来像とし、各分野への取組を策定しております。

### 中古車リースの取扱い開始

中古車でもリースを利用したいという個人のお客様や自動車販売店様のお声にお応えし、便利で安心な商品性をそのままに、中古車リースの取扱いを開始いたしました。

### 中央債権回収株式会社のグループイン

オートクレジットの債権回収で豊富な経験を持つサービスである**中央債権回収株式会社**が2020年4月1日にグループインいたしました。全国規模の訪問調査・交渉部隊を持ち、当社クレジット事業との高いシナジー効果が期待されます。



© Premium Group All Rights Reserved.

20

その他トピックスといたしましては、今期中経の計画を2月に発表させていただきました。それにもとづいて、プレミアムモビリティサービス株式会社という会社とプレミアオートパーツという会社をつくりましたので、オートモビリティ分野に関する事業をしっかりと今後は成長させていきたいというかたちで、こちらを中経の発表とともに設立をさせていたり。

または中古車のリースを新しい商品としてスタートをさせていただいたり。または中央債権のこちらをグループインさせるかたちでしっかりと債権管理、債権回収。こういった部門を強化するかたちで営業の伸びだけではなく、債権回収のところに関してもしっかりと足元を固めて専門店な知識もつけながら、グループ効果を発揮していきたいと考えてる次第でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 2020年3月期振り返り

2019年4月	千葉県海浜幕張に位置する「東東京支店」をグループ会社合同オフィスへと <b>拡張移転</b>
5月	<b>世界共通の自動車保証プラットフォーム</b> を構築
8月	中古車保証のオリジナル商品「 <b>プレミアの故障保証</b> 」提供開始
10月	東海エリアのシェア拡大に向け「 <b>静岡支店</b> 」をオープン
11月	<b>整備工場「FIX MAN」</b> に板金・塗装設備を増設
12月	オートクレジットに特化したサービサー「 <b>中央債権回収株式会社</b> 」の株式取得
2020年1月	女性が活躍できる会社へ贈られる「 <b>WOMAN'S VALUE AWARD 2019</b> 」受賞 新しい社会を創造する心豊かな <b>人財育成を担う新会社「株式会社VALUE」</b> 設立
2月	オートモビリティサービスの拡充を目指し 「 <b>プレミアモビリティサービス株式会社</b> 」「 <b>プレミアオートパーツ株式会社</b> 」を設立
3月	<b>中古車リースの取り扱い開始</b> 故障保証のバックオフィス業務に特化した「 <b>渋谷オフィス</b> 」をオープン



© Premium Group All Rights Reserved.

21

3月の振り返りが異常な状況でございますが。もちろんいろいろ、今考えると施策のところかというところはある。このコロナ禍のところを想定できていなかった部分は多分にあるんですけども。今後はしっかりとこういった部分を活かしながら経験化しながら、対応していきたいと考えてる次第でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 2021年3月期 業績予想、及び経営環境について

<p><b>2021年3月期 予想値</b></p>	<p><b>業績</b></p> <p><b>配当</b></p>	<p>✓ <b>未定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点において将来の見通しを合理的に算定することが困難であると判断</li> <li>今後、業績への影響を慎重に見極め、第1四半期の決算発表にて今期の業績予想を公表予定</li> </ul>
<p><b>2021年3月期 経営環境</b></p>	<p><b>ストック型の ビジネスモデルにより 安定的収益確保可能</b> (詳細はAPPENDIX P.26)</p>	<p>✓ <b>増収増益を目指し、増配方針を維持予定</b></p> <p>✓ <b>その他特殊要因として、中央債権回収(株)の子会社化により、負ののれん発生益約6億円を計上見込み</b></p>
<p><b>2021年3月期 基本方針</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>新規採用、新規出店はコロナ収束迄ペンディング</b></li> <li>✓ <b>中期経営計画の各種施策は慎重な判断のもと実施</b></li> <li>✓ <b>ノンアセットビジネスであるオートモビリティ事業の推進強化</b> 整備・板金事業(リペアビジネス)/中古車部品の流通(パーツビジネス)/引揚車両の流通(リユースビジネス)/自動車仕入れサポート 等</li> <li>✓ <b>業務システム化の積極的推進</b> ペーパーレス化/非接触型営業の体制構築/在宅勤務環境の整備/サテライトオフィスの活用推進 等</li> </ul>	



また最後に 2021 年 3 月期の業績予想についてでございます。

こちらも来期、今期の予想値に関しては未定というかたちで業績、配当とも。今回の新型コロナウイルスのコロナ禍という影響によって現時点では、将来の見通しを非常に合理的に算定することが困難であると判断をしております。

ただ今後業績への影響については慎重に見極めながら、第1クォーターの決算発表にて今期の業績予想を公表していきたいと考えてます。

今、緊急事態宣言も全国解除されて少し落ち着きも出てきておりますし、この次のわれわれ経営環境がやりますように、ストック型のビジネスモデルですので、ある程度収益の予想ってつくんですけども。今後、秋冬にかけて第2波、第3波というような予想ですとか、またうわさなんかも出ておまして、これの影響というものをやはりしっかりと見極めていかないと、なかなかトップラインのところが読みにくいところもあって、今回については逆に不確実な数字を出すよりも、少し状況を見極めたいということで未定とさせていただきます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

ただ経営環境としましては、私どものビジネスモデルというのはストック型のビジネスモデルでございますので、安定的に収益確保は可能かと考えてございます。増収増益を今期に関しても目指して、増配方針をしっかりと維持していきたいと思っております。

また本日同日でリリースもさせていただいておりますが、その他特殊要因として中央債権、先ほどから申し上げてます4月1日にグループイン、100%買収をしました中央債権株式会社の子会社化による負ののれん、これの発生益が今期約6億円を計上見込みでございます。

こちらが非常に今期の利益には寄与してくると考えてございます。

また今期の基本方針としましては、新規採用または本業のところでは、少し新規出店にアクセルを踏んで人も増やしていこうという計画を持っておりましたが、現時点ではこのコロナ禍が収束するまではペンディングしたいと考えておまして、ここを収束後に改めて戦略のほうは対応したいと考えています。

ただわれわれが目指してる中期経営計画というものは、今回のコロナ禍で影響を受けるものではないと考えておりますので、各種施策につきましては慎重な判断はもちろん行いますけども、しっかりと中期経営計画どおりの戦略は実施していきたいと考えてます。

またその中で、特にノンアセットビジネスであるオートモビリティ事業、プレミアムモビリティサービスという会社を通じた整備・板金事業、または中古車の部品の流通事業、または引揚車両の流通事業。こちらは中央債権回収のサービサー会社に関しても、われわれ以外の会社からのいわゆるオート債権の受託も受けておりますので、こちらの引揚車両なんかもしっかりと流通に使えるということも考えながらリペア、パーツ、リユース、こういったサポートをノンアセットであるオートモビリティ事業の推進をしっかりと強化をしていきたいと考えてございます。

また今回コロナ禍によりテレワークまたはIT化というところ、ここが非常に必須になってくるところもあって、これもわれわれも非常に大きく実感をしておりますので、業務システム化の積極的な推進ということでペーパーレスを行っていく。または非接触型の営業の体制を構築していく、またはテレワーク、こういった環境を整備していく。そのためにサテライトオフィス、こういったものを活用していくというような、業務システムの大きな変換地期でもあると考えておりますので、こういった対応も積極的に推進をしていきたいと考えてる次第でございます。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



### － 開催方法について －

**新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡散防止の背景から、インターネットを用いたライブ配信方式での開催に変更するとともに、株皆様のご来場をいただくことなく、当社役員のみで開催することがやむを得ないと判断いたしました。**

日時	2020年6月29日(月)午後2時
場所	プレミアグループ株式会社 本社会議室 東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー19階
開催方法	インターネットを用いたライブ配信方式
招集通知 発送日	2020年6月12日(金)
議決権行使 /質疑受付方法	書面又はインターネット等により事前に議決権行使をお願い申し上げます。 質疑につきましては、事前に専用窓口にて受け付けた上で、株皆様のご関心が高い事項については当日の株主総会にてご説明する予定です。



最後にこの第5期の定期的株主総会のトピックスでございますが。開催方法につきましては、今回感染症の感染予防、または拡散防止の背景からインターネットを用いたライブの配信方式での開催を変更いたします。

そういった意味では株皆様のご来場いただくことなく、当社役員のみで開催することがやむを得ないということで、6月29日午後2時よりこの本社のほうでインターネットを用いたライブ配信方式で行っていきたくて考えておりますので、どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上が私からのご説明でございます。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 質疑応答

---

**司会**：それではこれより質疑応答の時間に移らせていただきます。

ご質問のある方は画面上の Q&A よりご入力をお願いできればと思います。

**柴田**：はい。ご質問いただいております。

まず 4 月の取扱高が前年比プラス 0.9%ということでしたが、直近の状況含めて足元の状況について教えていただけますでしょうか、というご質問でございます。

まずクレジット事業につきましては、この直近の状況を申し上げるとやはり少し弱含みなのかなと感じております。われわれのシェアが取られているというよりも、やはり外出自粛をずっと全国的に続けていたという影響があって。車の販売自体が成約にならない、成約に結びつかないというところで、車の売れ行きというところから若干やはり落ちているのか、マーケットとしては弱含みなのかなと思っております。

ただ実は、今週の頭に首都圏のほう解除されましたので。この土日に関しては、ある程度の申し込みの件数が前年並みに上がってきておりますので。そういった意味では現状のコロナ禍の状況が推移している限りにおいて、またこの自粛が再度復活しない限りにおいては、足元としてはこれから徐々に増えてくるかなと考えております。

**司会**：質疑応答のお時間ですが、あと 2 分ほどで締め切らせていただきたいと思いますので、もし何かございましたらご入力をお願いいたします。

**柴田**：はい。そういたしましたら、ご質問もないようですのでこれにて本日の説明会を終了させていただきます。

またこのあと何かご質問等ございましたら、私どもの広報、IR 宛にご質問いただければ結構でございますし。また 1on1 の方も今期についても引き続き開催をしております。

Zoom に関しましては、Zoom で対応も可能でございます。またご来社、私どもからもお伺いすることも可能でございますので、ご遠慮なくお申し付けいただければなと思ってございます。

これにて本日は、2020 年 3 月期本決算説明会の開催を終了させていただきます。

本日はご静聴ありがとうございました。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptasia.com



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

